

「新品種開発し発展」の記事を讀んで  
射水市立小杉南中学校 一年 須藤 里菜

砺波市で毎年、春に開催されるチユーリップ  
フェアは、約30万人の来場者でにぎわいま  
す。

富山県で有名な植物、そう聞くと私は「チ  
ユーリップ」が頭に浮かびました。小さい頃  
に見に行った砺波市のチユーリップフェア。  
辺り一面に咲く色とりどりのチウトリップが  
今でも頭に焼き付いています。チユーリップ  
は赤、白、黄などさまざまの色があり、とて  
もきれいです。でも私は、チユーリップが歩  
んできた発展の歴史については知りませんで  
した。なので、チユーリップの発展の歴史に  
ついての記事を選ぶことにしました。

米の裏作となる作物を見つけないとチユー  
リップを10球取り寄せて、切花として売った  
ところ、おもむね高価で売れ、本格的にチユー

リップ栽培に取り組みました。どんどん売  
上げをのぼしていたところに「太平洋戦争」  
が始まってしまいました。ですが、何とかチ  
ューリップを守り抜こうと、徹しい取り締ま  
りの目をくぐって、チューリップを守り抜き  
終戦後、生産を復活させることができたので  
す。今では、33種もの新品種を登録している  
そうです。

私は、「太平洋戦争」の中チューリップを  
守り抜いた人々の勇気がしてもすごいと思  
います。もし見つかったらどうなっていたか  
なんて考えただけでも、ぞっとしみます。人々が  
命をかけてでも守り抜いたチューリップを、  
これから未来に受け継いでいきたいです。  
新品種を33種も登録している、とありますが  
新品種の開発には、20年以上の歳月がかかる  
ので、そんなにたくさん登録していることに  
してもおどろきました。

このようにチューリップは幾多の苦難を乗  
り越えて、今の発展に至っていることがよく

分かりました。でも、その発展の裏には人々の努力があった。たこしを忘れてはいけないと強く思いました。

私は、このチユーリップの記事を読んで、最初はただきれいだなとしか思っていなかった。チユーリップのことも、今ではとても大変な苦難を乗り越えて、今のチユーリップがあるんだと思うようになりました。この記事で学んだことは、どんなに大変なことで、それを乗り越えれば、自分は成長できるという事です。むりだと思ってもあきらめずに挑戦してみる。そのことがとても大切だと思います。これから、私は植物を大切にし、何にでもあきらめずに挑戦する心を忘れず毎日過ごしていきたいです。そして、昨日の自分より、今日の自分が成長しているように努力していきたいです。